



CHAPTER 5

Quality of Service コマンド

この章では、Cisco Nexus 5000 シリーズ スイッチで使用可能な Cisco NX-OS QoS (Quality Of Service) コマンドについて説明します。

class-map

クラス マップを作成または修正して、クラスマップ コンフィギュレーション モードを開始するには、**class-map** コマンドを使用します。クラス マップを削除するには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

class-map *class-map-name*

no class-map *class-map-name*

シンタックスの説明	<i>class-map-name</i>	クラス マップに割り当てる名前。「class default」という名前は予約されています。
コマンドのデフォルト	なし	
コマンド モード	グローバル コンフィギュレーション	
コマンドの履歴	リリース	変更内容
	4.0(0)N1(1a)	このコマンドが追加されました。
使用上のガイドライン	QoS ポリシーで使用される各クラスのトラフィックにクラス マップを定義できます。	
例	次に、クラス マップを作成または修正する例を示します。 <pre>switch(config)# class-map my_class1 switch(config-cmap)#</pre> 次に、クラス マップを削除する例を示します。 <pre>switch(config)# no class-map my_class1</pre>	
関連コマンド	コマンド	説明
	policy-map	ポリシー マップを作成、または変更します。
	show class-map	クラス マップを表示します。

flowcontrol

選択したインターフェイスの IEEE 802.3x リンクレベル フロー制御をイネーブルにするには、**flow-control** コマンドを使用します。

flowcontrol [receive {on | off}] [transmit {on | off}]

シンタックスの説明

receive {on off}	(任意) 受信方向でのフロー制御を設定します。
transmit {on off}	(任意) 送信方向でのフロー制御を設定します。

コマンドのデフォルト

なし

コマンドモード

インターフェイス コンフィギュレーション モード

コマンドの履歴

リリース	変更内容
4.0(0)N1(1a)	このコマンドが追加されました。

例

次に、インターフェイス上で受信されるトラフィックに対してフロー制御をイネーブルにする例を示します。

```
switch# configure terminal
switch(config)# interface ethernet 1/2
switch(config-if)# flowcontrol receive on
```

関連コマンド

コマンド	説明
priority-flow-control	選択されたインターフェイスの PFC モードを設定します。

match cos (クラス マップ タイプ qos)

タイプ qos クラス マップ内で Class of Service (CoS; サービス クラス) 値を使用してトラフィックのクラスを定義するには、**match cos** コマンドを使用します。CoS 値に基づいた一致を削除するには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

match [not] cos cos-list

no match [not] cos cos-list

シンタックスの説明

not	(任意) 指定した一致結果を否定します。
cos-list	指定した COS 値またはそのリストに基づいて一致します。有効な値の範囲は 0 ~ 7 です。

デフォルト

なし

コマンドモード

クラスマップ タイプ qos コンフィギュレーション

コマンドの履歴

リリース	変更内容
4.1(3)N1(1)	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

値のリストを指定するには、次のいずれかを使用します。

- ダッシュで区切られた値の範囲を指定する
- カンマで区切られた不連続な値のリストを指定する



(注)

タイプ qos のクラス マップだけが、このコマンドのオプションの **not** キーワード形式をサポートします。タイプ キューイングのクラス マップは、**not** キーワードをサポートしていません。

このコマンドにライセンスは必要ありません。

例

次に、タイプ qos クラス マップで CoS 値に基づいて一致する例を示します。

```
switch(config)# class-map class_acl
switch(config-cmap-qos)# match cos 5-7
```

関連コマンド

コマンド	説明
show class-map	クラス マップを表示します。

match access-group

指定した Access Control List (ACL; アクセス コントロール リスト) グループをクラス マップの一致基準にするには、クラス マップ コンフィギュレーション モードで **match access-group** コマンドを使用します。クラス マップから ACL 一致基準を削除するには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

match access-group name *acl-name*

no match access-group name *acl-name*

シンタックスの説明

access-group 指定した名前の ACL の特性に基づいて一致します。
name *acl-name*

デフォルト

なし

コマンド モード

クラスマップ タイプ qos コンフィギュレーション

コマンドの履歴

リリース	変更内容
4.1(3)N1(1)	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン



(注)

permit および **deny** ACL キーワードは、パケットの一致に影響しません。

このコマンドにライセンスは必要ありません。

例

次に、ACL `my_acl` の特性と一致する qos クラス マップを作成する例を示します。

```
switch(config)# class-map class_acl
switch(config-cmap-qos)# match access-group name my_acl
```

関連コマンド

コマンド	説明
show class-map	クラス マップを表示します。

match class-map

指定したクラス マップ内の `match` コマンドに基づいて一致するには、クラス マップ コンフィギュレーション モードで **match class-map** コマンドを使用します。指定したクラス マップに基づいた一致を削除するには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

match [not] class-map class-map-name

no match [not] class-map class-map-name

シンタックスの説明

not	(任意) 指定した一致結果を否定します。
<i>class-map-name</i>	指定した名前のクラスマップ内の match コマンドに基づいて一致します。

デフォルト

なし

コマンドモード

クラスマップ タイプ qos コンフィギュレーション

コマンドの履歴

リリース	変更内容
4.1(3)N1(1)	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

このコマンドにライセンスは必要ありません。

例

次に、クラス マップ `my_test` 内で指定された一致基準に基づいて一致する例を示します。

```
switch(config)# class-map my_test
switch(config-cmap-qos)# match class-name my_test
```

関連コマンド

コマンド	説明
show class-map	クラス マップを表示します。

match cos (クラス マップタイプ qos)

タイプ qos クラス マップ内でサービス クラス (CoS) 値を使用してトラフィックのクラスを定義するには、**match cos** コマンドを使用します。CoS 値に基づいた一致を削除するには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

match [not] cos cos-list

no match [not] cos cos-list

シンタックスの説明

not	(任意) 指定した一致結果を否定します。
<i>cos-list</i>	指定した COS 値またはそのリストに基づいて一致します。有効な値の範囲は 0 ~ 7 です。

デフォルト

なし

コマンドモード

クラスマップ タイプ qos コンフィギュレーション

コマンドの履歴

リリース	変更内容
4.1(3)N1(1)	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

値のリストを指定するには、次のいずれかを使用します。

- ダッシュで区切られた値の範囲を指定する
- カンマで区切られた不連続な値のリストを指定する



(注)

タイプ qos のクラス マップだけが、このコマンドのオプションの **not** キーワード形式をサポートしません。タイプ キューイングのクラス マップは、**not** キーワードをサポートしていません。

このコマンドにライセンスは必要ありません。

例

次に、タイプ qos クラス マップで CoS 値に基づいて一致する例を示します。

```
switch(config)# class-map class_acl
switch(config-cmap-qos)# match cos 5-7
```

関連コマンド

コマンド	説明
show class-map	クラス マップを表示します。

match cos (クラス マップ タイプ キューイング)

タイプ キューイング クラス マップ内でトラフィックのクラスを定義するには、**match cos** コマンドを使用します。**match** 設定を削除するには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

match cos *cos-list*

no match cos *cos-list*

シンタックスの説明

<i>cos-list</i>	指定した COS 値またはそのリストに基づいて一致します。有効な値の範囲は 0 ~ 7 です。
-----------------	---

デフォルト

なし

コマンド モード

クラスマップ タイプ キューイング コンフィギュレーション

コマンドの履歴

リリース	変更内容
4.1(3)N1(1)	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

値のリストを指定するには、次のいずれかを使用します。

- ダッシュで区切られた値の範囲を指定する
- カンマで区切られた不連続な値のリストを指定する



(注)

タイプ qos のクラス マップだけが、このコマンドのオプションの **not** キーワード形式をサポートしません。

このコマンドにライセンスは必要ありません。

例

次に、CoS に基づいて一致するように、タイプ キューイング クラス マップを変更する例を示します。

```
switch(config)# class-map type queuing match-any 8q2t-in-q4
switch(config-cmap-que)# match cos 3
switch(config-cmap-que)#
```

関連コマンド

コマンド	説明
show class-map	クラス マップを表示します。

match dscp

特定の Differentiated Services code point (DSCP) 値を一致基準にするには、**match dscp** コマンドを使用します。指定した DSCP 値を一致基準から削除するには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

match [not] dscp dscp-list

no match [not] dscp dscp-list

シンタックスの説明	not	(任意) 指定した一致結果を否定します。
	dscp-list	指定した DSCP 値またはそのリストに基づいて一致します。有効な DSCP 値のリストについては、表 1 を参照してください。

デフォルト なし

コマンドモード クラスマップ タイプ qos コンフィギュレーション

コマンドの履歴	リリース	変更内容
	4.1(3)N1(1)	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン 標準の DSCP 値を表 1 に示します。
値のリストを指定するには、次のいずれかを使用します。

表 1 標準の DSCP 値

	DSCP 値のリスト
af11	AF11 dscp (001010) : 10 進値 10
af12	AF12 dscp (001100) : 10 進値 12
af13	AF13 dscp (001110) : 10 進値 14
af21	AF21 dscp (010010) : 10 進値 18
af22	AF22 dscp (010100) : 10 進値 20
af23	AF23 dscp (010110) : 10 進値 22
af31	AF31 dscp (011010) : 10 進値 26
af32	AF40 dscp (011100) : 10 進値 28
af33	AF33 dscp (011110) : 10 進値 30
af41	AF41 dscp (100010) : 10 進値 34
af42	AF42 dscp (100100) : 10 進値 36
af43	AF43 dscp (100110) : 10 進値 38
cs1	CS1 (precedence 1) dscp (001000) : 10 進値 8
cs2	CS2 (precedence 2) dscp (010000) : 10 進値 16

表 1 標準の DSCP 値 (続き)

	DSCP 値のリスト
cs3	CS3 (precedence 3) dscp (011000) : 10 進値 24
cs4	CS4 (precedence 4) dscp (100000) : 10 進値 32
cs5	CS5 (precedence 5) dscp (101000) : 10 進値 40
cs6	CS6 (precedence 6) dscp (110000) : 10 進値 48
cs7	CS7 (precedence 7) dscp (111000) : 10 進値 56
default	デフォルト dscp (000000) : 10 進値 0
ef	EF dscp (101110) : 10 進値 46

- ダッシュで区切られた値の範囲を指定する
- カンマで区切られた不連続な値のリストを指定する

このコマンドにライセンスは必要ありません。

例

次に、DSCP 値 af21 に基づいて一致する例を示します。

```
switch(config)# class-map my_test
switch(config-cmap-qos)# match dscp af21
```

関連コマンド

コマンド	説明
show class-map	クラス マップを表示します。

match ip rtp

Real-Time Protocol (RTP) ポートを一致基準として使用するようクラス マップを設定するには、**match ip rtp** コマンドを使用します。RTP ポートを一致基準から削除するには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

```
match [not] ip rtp port-list
```

```
no match [not] ip rtp port-list
```

シンタックスの説明

not	(任意) 指定した一致結果を否定します。
<i>port-list</i>	RTP を使用する指定した UDP ポートまたはそのリストに基づいて一致します。有効な値の範囲は 2000 ~ 65535 です。

デフォルト

なし

コマンドモード

クラスマップ タイプ qos コンフィギュレーション

コマンドの履歴

リリース	変更内容
4.1(3)N1(1)	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

値のリストを指定するには、次のいずれかを使用します。

- ダッシュで区切られた値の範囲を指定する
- カンマで区切られた不連続な値のリストを指定する

このコマンドにライセンスは必要ありません。

例

次に、RTP を使用するポートに基づいて一致する例を示します。

```
switch(config)# class-map my_test
switch(config-cmap-qos)# match ip rtp 2300
```

関連コマンド

コマンド	説明
show class-map	クラス マップを表示します。

match precedence

IP ヘッダーの Type of Service (TOS; タイプ オブ サービス) バイト フィールド内の優先順位値を一致基準として使用するようクラス マップを設定するには、**match precedence** コマンドを使用します。優先順位値を一致基準から削除するには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

match [not] precedence precedence-list

no match [not] precedence precedence-list

シンタックスの説明

not	(任意) 指定した一致結果を否定します。
<i>precedence-list</i>	指定した IP precedence 値またはそのリスト (バイト単位で指定) に基づいて一致します。有効な値を表 2 に示します。

デフォルト

なし

コマンドモード

クラスマップ タイプ qos コンフィギュレーション

コマンドの履歴

リリース	変更内容
4.1(3)N1(1)	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

優先順位値のリストについては、表 2 を参照してください。

表 2 優先順位値

	優先順位値のリスト
0 ~ 7	IP precedence 値
critical	クリティカル優先順位 (5)
flash	フラッシュ優先順位 (3)
flash-override	フラッシュ オーバーライド優先順位 (4)
immediate	即時優先順位 (2)
internet	インターネットワーク コントロール優先順位 (6)
network	ネットワーク コントロール優先順位 (7)
priority	プライオリティ優先順位 (1)
routine	ルーチン優先順位 (0)

値のリストを指定するには、次のいずれかを使用します。

- ダッシュで区切られた値の範囲を指定する
- カンマで区切られた不連続な値のリストを指定する

このコマンドにライセンスは必要ありません。

例

次に、IP precedence 値に基づいて一致する例を示します。

```
switch(config)# class-map my_test  
switch(config-cmap-qos)# match precedence 7
```

関連コマンド

コマンド	説明
show class-map	クラス マップを表示します。

match protocol

特定のプロトコルを一致基準として使用するようクラス マップを設定するには、**match protocol** コマンドを使用します。指定したプロトコルを一致基準から削除するには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

match [not] protocol protocol-name

no match [not] protocol protocol-name

シンタックスの説明

not	(任意) 指定した一致結果を否定します。
<i>protocol-name</i>	指定した名前プロトコルに基づいて一致します。有効な値を表 3 に示します。

デフォルト

なし

コマンドモード

クラスマップ タイプ qos コンフィギュレーション

コマンドの履歴

リリース	変更内容
4.1(3)N1(1)	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

有効なプロトコル名のリストを表 3 に示します。

表 3 プロトコル名

引数	説明
arp	Address Resolution Protocol (ARP; アドレス解決プロトコル)
bridging	ブリッジング
cdp	Cisco Discovery Protocol (CDP; シスコ検出プロトコル)
clns	Connectionless Network Service (CLNS; コネクションレス型ネットワーク サービス)
clns_es	CLNS エンドシステム
clns_is	CLNS 中継システム
dhcp	Dynamic Host Configuration (DHCP)
isis	Intermediate System to Intermediate System (IS-IS)
ldp	Label Distribution Protocol (LDP; ラベル配布プロトコル)
netbios	NetBIOS Extended User Interface (NetBEUI)



(注) 上記のプロトコルのうち最大で 8 種類まで同時に一致できます。

複数のプロトコルを指定するには、このコマンドを複数回入力して必要なプロトコルの値をそれぞれ指定します。

このコマンドにライセンスは必要ありません。

例

次に、指定したプロトコルに基づいて一致する例を示します。

```
switch(config)# class-map my_test  
switch(config-cmap-qos)# match protocol ldp
```

関連コマンド

コマンド	説明
<code>show class-map</code>	クラス マップを表示します。

policy-map type qos

ポリシー マップを作成または修正し、ポリシー マップ タイプ qos コンフィギュレーション モードを開始するには、**policy-map type qos** コマンドを使用します。ポリシー マップを削除するには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

policy-map [type qos] [match-first] qos-policy-map-name

no policy-map [type qos] [match-first] qos-policy-map-name

シンタックスの説明

match-first	(任意) パケット特性と一致する最初のクラスに関連付けられているポリシーが実行されることを指定します。このアクションは、このオプションが指定されなくても、デフォルトで使用されます。 (注) これはデフォルトのアクションであるため、この変数を入力する必要はありません。他のシステムとの互換性を維持するために存在しています。
<i>qos-policy-map-name</i>	タイプ qos ポリシー マップに割り当てられる名前。

デフォルト

タイプを指定しないで **policy-map** コマンドを入力すると、ポリシー マップ タイプ qos コンフィギュレーション モードが開始されます。

コマンド モード

グローバル コンフィギュレーション

コマンドの履歴

リリース	変更内容
4.1(3)N1(1)	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

ポリシー マップをインターフェイスに割り当てるには、**service-policy** コマンドを使用します。このコマンドにライセンスは必要ありません。

例

次に、タイプ qos ポリシー マップを作成または修正する例を示します。

```
switch(config)# policy-map my_policy1
switch(config-pmap-qos)#
```

次に、タイプ qos ポリシー マップを削除する例を示します。

```
switch(config)# no policy-map my_policy1
```

関連コマンド

コマンド	説明
service-policy	ポリシー マップをインターフェイスに付加します。
show policy-map	ポリシー マップと統計情報を表示します。

priority-flow-control

選択したインターフェイスの Priority-Flow-Control (PFC) モードを設定するには、**priority-flow-control** コマンドを使用します。

```
priority-flow-control mode {auto | on}
```

シンタックスの説明

auto	PFC 機能をネゴシエーションします。
on	PFC を強制的にイネーブルにします。

コマンドのデフォルト

なし

コマンドモード

インターフェイス コンフィギュレーション モード

コマンドの履歴

リリース	変更内容
4.0(0)N1(1a)	このコマンドが追加されました。

例

次に、インターフェイス上で PFC を強制的にイネーブルにする例を示します。

```
switch# configure terminal
switch(config)# interface ethernet 1/2
switch(config-if)# priority-flow-control mode on
```

関連コマンド

コマンド	説明
flowcontrol	選択したインターフェイスのリンクレベル フロー制御を設定します。

service-policy

ポリシー マップをインターフェイス、VLAN、またはトンネルに付加するには、**service-policy** コマンドを使用します。サービスポリシーをインターフェイス、VLAN、またはトンネルから削除するには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

service-policy [**type** {**qos** | **queuing**|**network-qos**}] {**input** | **output**} *policy-map-name*

no service-policy [**type** {**qos** | **queuing**|**network-qos**}] {**input** | **output**} *policy-map-name*

シンタックスの説明

type	(任意) ポリシー マップが qos と キューイングのいずれのタイプであるか指定します。
qos	タイプ qos のポリシー マップを指定します。
queuing	タイプ キューイングのポリシー マップを指定します。
input	このインターフェイスに着信するパケットにこのポリシー マップを適用します。
output	このインターフェイスから発信するパケットにこのポリシー マップを適用します。
<i>policy-map-name</i>	このインターフェイスに付加するポリシー マップの名前。ポリシー マップは、ポリシー タイプ qos およびキューイングのそれぞれに対し、与えられたインターフェイスの入力と出力に 1 つずつしか付加できません。

デフォルト

タイプのデフォルトは qos です。

service-policy コマンドを実行しない限り、インターフェイス上にアクティブなタイプ qos のポリシーはありません。別のクラス マップを具体的に付加しない限り、システム定義のタイプ キューイング クラス マップが各インターフェイスに付加されます。

コマンド モード

インターフェイス コンフィギュレーション
VLAN コンフィギュレーション

コマンドの履歴

リリース	変更内容
4.1(3)N1(1)	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

service-policy コマンドを入力しない限り、インターフェイス上にアクティブなタイプ qos のポリシーはありません。別のクラス マップを具体的に付加しない限り、システム定義のタイプ キューイング クラス マップが各インターフェイスに付加されます。

ポート、ポート チャネル、トンネル、および VLAN に対し、タイプ qos ポリシー マップを入力に 1 つ、出力に 1 つ付加できます。タイプがポート、ポート チャネル、トンネル、および VLAN のインターフェイスに対し、タイプ キューイング ポリシー マップを入力に 1 つ、出力に 1 つ付加できます。

ポリシー マップは、ポリシー タイプ qos およびキューイングのそれぞれに対し、与えられたインターフェイスの入力と出力に 1 つずつしか付加できません。



(注)

サービス ポリシーの使用方法に関する詳細については、『Cisco Nexus 5000 Series Configuration Guide, Cisco NX-OS Release 4.1』を参照してください。

このコマンドにライセンスは必要ありません。

例

次に、qos タイプ ポリシー マップを VLAN の入力および出力パケットに付加する例を示します。

```
switch(config)# vlan 1
switch(config-vlan)# service-policy input my_input_policy
switch(config-vlan)# service-policy output my_output_policy
switch(config-vlan)#
```

次に、キューイング ポリシー マップをポート インターフェイスの入力パケットに付加する例を示します。

```
switch(config)# interface ethernet 2/1
switch(config-if)# service-policy type queuing input my_input_q_policy
switch(config-if)#
```

次に、ポリシー マップを VLAN から削除する例を示します。

```
switch(config)# vlan 1
switch(config-vlan)# no service-policy input my_input_policy
switch(config-vlan)#
```

関連コマンド

コマンド	説明
show policy-map	すべてのインターフェイスおよび VLAN を、付加されているサービス ポリシーとともに要約形式で表示します。
interface brief	

show class-map type qos

タイプ qos クラス マップを表示するには、**show class-map type qos** コマンドを使用します。

show class-map type qos [*class-map-name* | *color-class-map-name*]

シンタックスの説明

<i>class-map-name</i>	名前付きクラス マップ。 <i>class-default</i> という名前は予約されています。
<i>color-class-map-name</i>	システム定義のカラー クラス マップ

デフォルト

クラス マップ名を指定しなければ、すべてのタイプ qos クラス マップが表示されます。

コマンド モード

任意のコマンド モード

コマンドの履歴

リリース	変更内容
4.1(3)N1(1)	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

このコマンドにライセンスは必要ありません。

例

次に、すべてのタイプ qos クラス マップを表示する例を示します。

```
switch(config)# show class-map type qos
```

関連コマンド

コマンド	説明
class-map	クラス マップを作成または修正します。

show class-map type queuing

タイプ キューイング クラス マップを表示するには、**show class-map type queuing** コマンドを使用します。

show class-map type queuing [*class-map-name*]

シンタックスの説明	<i>class-map-name</i> 名前付きクラス マップ。				
デフォルト	クラス マップ名を指定しなければ、すべてのタイプ キューイング クラス マップが表示されます。				
コマンド モード	任意のコマンド モード				
コマンドの履歴	<table border="1"> <thead> <tr> <th>リリース</th> <th>変更内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>4.1(3)N1(1)</td> <td>このコマンドが追加されました。</td> </tr> </tbody> </table>	リリース	変更内容	4.1(3)N1(1)	このコマンドが追加されました。
リリース	変更内容				
4.1(3)N1(1)	このコマンドが追加されました。				
使用上のガイドライン	このコマンドにライセンスは必要ありません。				
例	次に、すべてのタイプ キューイング クラス マップを表示する例を示します。 <pre>switch(config)# show class-map type queuing</pre>				
関連コマンド	<table border="1"> <thead> <tr> <th>コマンド</th> <th>説明</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>class-map</td> <td>クラス マップを作成または修正します。</td> </tr> </tbody> </table>	コマンド	説明	class-map	クラス マップを作成または修正します。
コマンド	説明				
class-map	クラス マップを作成または修正します。				

show policy-map

ポリシー マップおよび統計情報を表示するには、**show policy-map** コマンドを使用します。

show policy-map [**type** {**qos** | **queuing**[**network-qos**}] [*policy-map-name*]

シンタックスの説明

type	(任意) 表示するコンポーネント タイプを指定します。
qos	タイプ qos のポリシー マップだけを表示します。
queuing	タイプ キューイングのポリシー マップだけを表示します。
<i>policy-map-name</i>	(任意) 名前付きポリシー マップを表示します。

デフォルト

なし

コマンドモード

任意のコマンドモード

コマンドの履歴

リリース	変更内容
4.1(3)NI(1)	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

引数もキーワードも指定しないで **show policy-map** コマンドを入力すると、Control Plane Policing (CoPP) 情報が一緒に表示されます。

このコマンドにライセンスは必要ありません。

例

次に、名前付きポリシー マップを表示する例を示します。

```
switch(config)# show policy-map abc
switch(config)# show policy-map type queuing
```

関連コマンド

コマンド	説明
class-map	クラス マップを作成または修正します。

show policy-map interface

インターフェイスのポリシー マップおよび統計情報を表示するには、**show policy-map interface** コマンドを使用します。

```
show policy-map interface [ethernet {slot/port} | port-channel {channel-number}] [input | output] [type {qos | queuing}]
```

シンタックスの説明

ethernet	(任意) イーサネット インターフェイスに割り当てられているポリシー マップを表示します。
slot/port	指定したインターフェイスに割り当てられているポリシー マップを表示します。
port-channel	(任意) ポート チャンネルに割り当てられているポリシー マップを表示します。
channel-number	指定したポート チャンネルに割り当てられているポリシー マップを表示します。
input	(任意) 入力トラフィックに割り当てられているポリシー マップだけを表示します。
output	(任意) 出力トラフィックに割り当てられているポリシー マップだけを表示します。
type	(任意) 表示するコンポーネント タイプを指定します。
qos	タイプ qos のポリシー マップだけを表示します。
queuing	タイプ キューイングのポリシー マップだけを表示します。

デフォルト

なし

コマンド モード

任意のコマンド モード

コマンドの履歴

リリース	変更内容
4.1(3)N1(1)	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

統計情報はデフォルトで表示されます。

このコマンドにライセンスは必要ありません。

例

次に、指定したインターフェイスに割り当てられているポリシー マップを表示する例を示します。

```
switch(config)# show policy-map interface ethernet 2/10
switch(config)# show policy-map interface ethernet 2/2 type qos
```

関連コマンド

コマンド	説明
class-map	クラス マップを作成または修正します。

show policy-map interface brief

インターフェイスに適用されるポリシー マップを要約形式で表示するには、**show policy-map interface brief** コマンドを使用します。

show policy-map interface brief

シンタックスの説明 このコマンドには、引数またはキーワードはありません。

デフォルト なし

コマンドモード 任意のコマンドモード

コマンドの履歴	リリース	変更内容
	4.1(3)N1(1)	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン このコマンドにライセンスは必要ありません。

例 次に、割り当てられているポリシー マップを要約形式で表示する例を示します。

```
switch(config)# show policy-map interface brief

Interface/VLAN [Status]:INP QOS      OUT QOS      INP QUE      OUT QUE
=====
port-channel15  [Active]:
port-channel20  [Active]:
port-channel30  [Active]:
port-channel37  [Active]:
port-channel50  [Active]:

Ethernet2/2     [Active]:
Ethernet2/3     [Active]:

=====
```

関連コマンド	コマンド	説明
	show policy-map	ポリシー マップと統計情報を表示します。

show interface priority-flow-control

指定したインターフェイスのプライオリティ フロー制御の詳細を表示するには、**show interface priority-flow-control** コマンドを使用します。

show interface [*name*] **priority-flow-control**

シンタックスの説明

name (任意) インターフェイスの名前。

コマンドのデフォルト

なし

コマンドモード

グローバル コンフィギュレーション

コマンドの履歴

リリース	変更内容
4.0(0)N1(1a)	このコマンドが追加されました。

例

次に、指定のインターフェイスのプライオリティ フロー制御の詳細を表示する例を示します。

```
switch(config)# show interface ethernet 1/1 priority-flow-control
-----
Port          Mode Oper RxPPP    TxPPP
-----
Eth1/1       auto off  0          0
```

指定されているインターフェイスはイーサネット 1/1 で、PFC モードは PFC 機能をネゴシエーションするように設定され、動作はオフであり、送信されたパケットはゼロです。

関連コマンド

コマンド	説明
priority-flow-control	選択されたインターフェイスの PFC モードを設定します。

show policy-map interface

システムで設定されているシステム ポリシーおよびクラスごとの統計情報を表示するには、**show policy-map interface** コマンドを使用します。

show policy-map interface [*name*]

シンタックスの説明	<i>name</i> (任意) インターフェイスの名前。
------------------	-------------------------------

コマンドのデフォルト	なし
-------------------	----

コマンドモード	グローバル コンフィギュレーション
----------------	-------------------

コマンドの履歴	リリース	変更内容
	4.0(0)N1(1a)	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン	このコマンドにより、クラスごとの統計情報が表示されます。
-------------------	------------------------------

例	次に、デフォルト システム クラスについて表示されるクラスごとのポーズの統計情報を表示する例を示します。
----------	--

```
switch(config)# show policy-map interface ethernet 3/1
```

関連コマンド	コマンド	説明
	policy-map	ポリシー マップを作成、または変更します。
	show policy-map	ポリシー マップを表示します。

system jumbomtu

システムでの Maximum Transmission Unit (MTU; 最大伝送ユニット) の上限を定義するには、**system jumbomtu** コマンドを使用します。

system jumbomtu [value]

シンタックスの説明	<i>value</i>	ジャンボ MTU 値。有効範囲は 2240 ~ 9216 です。
------------------	--------------	----------------------------------

コマンドのデフォルト	9216 バイト
-------------------	----------

コマンドモード	グローバル コンフィギュレーション
----------------	-------------------

コマンドの履歴	リリース	変更内容
	4.0(0)N1(1a)	このコマンドが追加されました。

例 次に、システムでの MTU の上限を定義する例を示します。

```
switch(config)# system jumbomtu 9216
```

関連コマンド	コマンド	説明
	show interface	指定したインターフェイス上で送受信されたジャンボ MTU フレームを表示します。

system qos

システム ポリシーを設定するには、**system qos** コマンドを使用します。

system qos

シンタックスの説明 なし

コマンドのデフォルト なし

コマンド モード グローバル コンフィギュレーション

コマンドの履歴	リリース	変更内容
	4.0(0)N1(1a)	このコマンドが追加されました。

例 次に、システムの QoS を設定する例を示します。

```
switch# configure terminal
switch(config)# system qos
```

関連コマンド	コマンド	説明
	service- policy	システム クラス ポリシー マップをシステムのサービス ポリシーに関連付けます。

untagged cos

CoS 値なしで受信されたイーサネット フレームは、CoS 値に 0 が与えられます。選択したインターフェイスのこの値を上書きするには、**untagged cos** コマンドを使用します。

untagged cos *cos-value*

シンタックスの説明

<i>cos-value</i>	タグなしフレームのサービス クラス (CoS) 値を指定します。有効値の範囲は、1 ~ 7 です。
------------------	---

コマンドのデフォルト

なし

コマンド モード

インターフェイス コンフィギュレーション モード

コマンドの履歴

リリース	変更内容
4.0(1a)N1(1)	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

このコマンドにライセンスは必要ありません。

例

次に、インターフェイスで受信されたタグなしフレームの CoS 値を 4 に設定する例を示します。

```
switch# configure terminal
switch(config)# interface ethernet 1/2
switch(config-if)# untagged cos 4
```

関連コマンド

コマンド	説明
match cos	選択したクラスで一致するように CoS 値を設定します。

■ untagged cos